

第 2 次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の施策の方向（案）、主な施策（案） 新旧対照表

7 地域の振興

各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います

現基本計画の体系	検討中の後期基本計画（案）の体系
(2) 藤島地域 藤島地域は、多くの農業関係機関、団体などが集積し、先進的な農業に取り組む意欲的な農家が多く、特に稲作においては、庄内地方の農業の中心的役割を担ってきた地域です。このような地域特性を生かしながら、今後も重要な食糧生産地の一翼を担い、また、安全で良質な、「人と環境にやさしい農業」を実践する地域であることを強みに、農業を核とした地域づくりを推進します。 これまで築き上げてきた豊かな田園文化を継承しつつ、稲作に新たな園芸作物などを取り入れた複合的農業経営への転換を図り、農家の所得向上をめざした取組を行います。 藤島地域がこれまでまちづくりに活用してきた「ふじ」や伝統芸能である「獅子踊り」など、地域が育んできた貴重な歴史と文化を次世代にしっかりと継承していく取組を進めます。また、藤島歴史公園「Hisu 花（ヒスカ）」を新たな資源として活用し、市内外の交流の拡大を図ります。 依然として進む少子高齢化に伴う人口減少を見据え、地域内の生活基盤を再構築する取組や高齢者がいきいきと暮らせる仕組みづくり、地域特性に即した防災力の強化など、住民が安心して生活し、暮らしやすさを実感できる施策を展開します。	(2) 藤島地域 藤島地域は、多くの農業関係機関、団体などが集積し、稲作を中心にとした農業経営が盛んに行われて来た地域です。このような地域特性を生かしながら、これまで実践してきた人と環境にやさしい農業の取組を継続し、安全安心な農産物の生産を支援し、農業を核とした地域づくりを推進します。また、大規模農業や有機農業などの経営形態に応じた多様な米づくりを支援します。するとともに、あわせて、非主食用の新規需要米の生産拡大や大豆をはじめとする様々な主地利用型作物との複合的農業経営への転換を図りるとともに、地産地消を推進し、農家所得の向上をめざす取組を行います。 藤島地域がこれまでまちづくりに活用してきた「ふじ」や伝統芸能である「獅子踊り」など、地域が育んできた貴重な歴史と文化を次世代にしっかりと継承していく取組を進めます。また、藤島歴史公園「Hisu 花（ヒスカ）」を地域資源として活用し、市内外の交流の拡大を図ります。 依然として進む少子高齢化に伴う人口減少を見据え、地域内の生活基盤を再構築する取組や子どもの健やかな成長を育む教育環境の実現と魅力ある文厚エリアの検討、地域内の生活基盤を再構築する取組を進めるとともに、頻発する自然災害等にも対応できる地域特性に即した防災力の強化など、住民が安心して生活し、暮らしやすさを実感できる施策を展開します。

現基本計画の体系	検討中の後期基本計画（案）の体系
ア 豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現 イ 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 ウ くらしやすい”藤島”を実感できる生活基盤の再構築	ア 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興 イ 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 ウ くらしやすい”藤島”を実感できる生活基盤の再構築
ア 豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現 ○施策の方向 人と環境にやさしい農業の取組を継続し、安全安心な農産物の拡大と産地ブランド化、地産地消の取組を進めます。 稲作を基幹としながら園芸作物の生産拡大を図り農家所得の向上をめざすプロジェクトを展開します。 農業が縁となり、これまで築きあげてきた首都圏大学との連携や優れた人材を輩出し、地域の農業を支えてきた庄内農業高等学校などの教育機関との連携を強化します。 ○主な施策 ① 保有する農業関連資源や有機認証のノウハウなどをフルに活用して、作る人（農家）と食べる人（消費者）双方で地域の農業を支える仕組みを構築し、国内屈指の良質米産地として、地域の物語を付加した産地のブランド化を推進します。 ② 農業経営の安定化に向け、枝豆などの土地利用型園芸作物を振興して水田における稲作との複合経営を推進します。転換を促進するため地域全体で複合経営を可能とする広域の集出荷施設の整備や生産性向上のための機械導入	ア 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興 ○施策の方向 これまで実践してきた人と環境にやさしい農業の取組を継続し、安全安心な農産物の生産を推進します。また、低コスト・省力化技術確立し、大規模農業や有機農業などの経営形態に応じた多様な米づくりを支援します。 あわせて、非主食用の新規需要米の生産拡大や、大豆などの土地利用型作物との複合的農業経営への転換複合化を図るとともに、地産地消を推進し、農家所得の向上をめざすプロジェクトを展開します。 また、農業が縁となり、これまで築きあげてきた首都圏大学との交流や、優れた人材を輩出し地域の農業を支えてきた庄内農業高等学校などとの連携を強化します。 ○主な施策 ① 地域の特色である人と環境にやさしい米づくりを継続して推進するとともに、農家の大規模化に対応した低コスト・省力化技術等の習得を推進し、効率的な稲作経営の実現を支援します。 ② 県農業関係機関、ＪＡ等と連携し、基礎技術から高度技術まで幅広い研修等を実施するとともに、担い手農家の情報交換を支援します。 ③ 地場産ブランド米の開発を支援するとともに、地産地消を推進します。また、ふるさと納税や首都圏イベントにおけるＰＲなど販路拡大を図ります。

現基本計画の体系	検討中の後期基本計画（案）の体系
などを支援します。 ③ 学校給食へ新鮮な地元農産物を供給する団体を支援し、地産地消率の向上を図ります。また、食農教育や田んぼの生き物調査などの農業体験学習を通して子どもたちが農業の未来や魅力に関心を持ち、地域への誇りと愛着を育む取組を行います。 ④ 庄内農業高等学校と地域、農業関連団体などが連携して、魅力ある学校づくりを支援します。また、大東文化大学との連携により農産物のPRなどを行い、地域と首都圏の交流を推進します。	④ 農業経営の安定化に向け、非主食用の新規需要米の生産拡大や、大豆などの土地利用型園芸作物を振興して水田におけるを活用した稲作との複合経営を推進します。 ⑤ 新鮮な地元農産物を学校給食に供給する団体を支援し、地産地消率の向上を図ります。また、食農教育や田んぼの生き物調査などの農業体験学習を通して子どもたちが農業の未来や魅力に関心を持ち、地域への誇りと愛着を育む取組を行います。 ⑥ 庄内農業高等学校と地域、農業関連団体などが連携して、学生の地域活動への参画を支援するとともにし、地域とともにありつづける魅力ある学校づくりを推進します。また、首都圏の大学との連携により農産物のPRを行い、首都圏と地域の交流を推進します。
イ 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 ○施策の方向 藤島地域を象徴する「ふじ」と獅子踊りなどの「伝統芸能」は、今後も重要なまちづくりの資源と捉え、地域に活力を生み、住民が誇りと愛着を持てる地域づくりにつなげていくとともに、地域内外にその魅力を発信し、交流人口の拡大と賑わい創出を図ります。 また、ふじのまちのシンボル施設として整備した藤島歴史公園「Hisu 花(ヒスカ)」と隣接する東田川文化記念館を活用した地域づくりの推進やそれに関わるボランティアの育成などに取り組みます。地域の資源や特性を生かした取組を一層発展させながら、多様な人々の関わりによる歴史と文化、交流が彩るまちづくりを推進します。	イ 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 ○施策の方向 藤島地域を象徴する「ふじ」と獅子踊りなどの「伝統芸能」は、今後も重要なまちづくりの資源と捉え、地域に活力を生み、住民が誇りと愛着を持てる地域づくりにつなげていくとともに、地域内外にその魅力を発信し、交流人口の拡大と賑わい創出を図ります。 また、ふじのまちのシンボル施設として整備した藤島歴史公園「Hisu 花(ヒスカ)」と隣接する東田川文化記念館を活用した地域づくりや観光拠点化の推進を図り、それに関わるボランティアの育成などにもも取り組みます。地域の資源や特性を生かした取組を一層発展させながら、多様な人々の関わりによる歴史と文化、交流が彩るまちづくりを推進します。

現基本計画の体系	検討中の後期基本計画（案）の体系
○主な施策 ① 東田川文化記念館を含む藤島歴史公園「Hisu 花（ヒスカ）」から始まる地域づくりとして、市民が公園づくりや活用を検討できる場を創出します。また、オフシーズンのイルミネーションの点灯や住民参加の花壇整備などを行い魅力発信に努めます。 ② ふじのまちにふさわしいふじ棚の適正な維持管理を推進するため、地域住民、ボランティアなどの住民の主体性を生かした取組や活動を支援します。 ③ 市内の伝統芸能の裾野を広げるイベントとして鶴岡伝統芸能祭※を開催し、獅子の里「藤島」を発信します。また、伝統芸能の保存伝承にも取り組みます。 ④ ふじの花の魅力が伝わるお土産品開発に取り組みます。地域内外に発信する「ふじの花まつり」を開催し、ふじをテーマとした観光振興を促進します。 ※鶴岡伝統芸能祭 ふじしま夏まつりの中で、夕方 4 時から約 4 時間、第 1 部は藤島地域内で活動しているこどもたちや団体による踊りや太鼓の披露の場、第 2 部は獅子踊りをはじめとした藤島を含んだ鶴岡市内の伝統芸能・郷土芸能の競演を行い、地域の活性化と伝統芸能の育成を図るとともに、鶴岡の歴史と文化を体感することができるイベント。	○主な施策 ① 藤島歴史公園「Hisu 花（ヒスカ）」から始まる地域づくりとして、市民が Hisu 花を拠点にまちづくりや公園活用を検討できる場を設定します。また、オフシーズンのイルミネーションの点灯や住民参加の花壇整備などを行いに加え、四季を通じた魅力発信に努めます。 ② Hisu 花と東田川文化記念館を一体的な観光拠点ととらえ、効果的なソフト事業の展開や施設の充実を図り関係人口の増加を促進します。また、これらの資源を活用し、地元商工業者等との連携による観光振興に取り組みます。 ③ 地域の意見を取り入れた「東田川文化記念館利活用計画」を策定の利活用について地域住民と検討し、史跡としての歴史的価値を再認識できる情報発信など地域住民に周知するための事業を展開し文化意識の向上を図ります。 ④ ふじのまちにふさわしい藤棚の適正な維持管理を推進するため、地域住民、ボランティアなどの住民の主体性を生かした取組や活動を支援します。 ⑤ 市内の伝統芸能の裾野を広げるイベントとして鶴岡伝統芸能祭を開催し、獅子の里「藤島」を発信します。また、伝統芸能の保存伝承にも取り組みます。

現基本計画の体系	検討中の後期基本計画（案）の体系
ウ くらしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築 ○施策の方向 この地域に住みたいと思えるような、暮らしやすさを実感できる生活基盤の再構築に向けて、若者世代から選ばれる地域をめざした住環境の整備や子育て環境の充実を図ります。 地域公共交通のあり方など高齢者が社会参加しやすく、いきいきと充実した生活を送れるような仕組みを地域と協働で検討していきます。 また、庄内東縁断層帯や藤島川と京田川の二つの河川が貫流する地理的な特性にあることから、地震、大雨災害など防災機能の強化や地域防災力の充実を図ります。 ○主な施策 ① 交通ネットワークの充実や商工業振興につながる社会基盤の整備促進に努めます。また、地域公共交通のあり方や宅地供給の支援など地域のニーズを反映した仕組みづくりを検討し、魅力ある定住地としての環境づくりに取り組みます。 ② 子育て世代から定住先として積極的に選択してもらうために効果的な施策について検証していきます。児童館や保育園などの老朽化が進んでいるため、少子化の進展と子育て家庭のニーズを勘案した施設整備を検討し、子育て	⑥ 地域のシンボル「ふじ」や「農業」をテーマとする「ふじの花まつり」、「夏まつり」、「秋まつり」をまつり開催などの賑わい創出により、地域内外への魅力発信を強化し、観光振興を促進します。 ウ くらしやすい”藤島”を実感できる生活基盤の再構築 ○施策の方向 この地域に住みたいと思えるような、暮らしやすさを実感できる生活基盤の再構築に向けて、若者世代から選ばれる地域をめざした子育て・教育環境の充実と文厚エリアの整備推進を図ります。 地域公共交通のあり方など高齢者が社会参加しやすく、いきいきと充実した生活を送れるような仕組みを地域と協働で検討していきます。 また、庄内東縁断層帯の南端部に位置し、藤島川と京田川の二つの河川が貫流する地理的な特性にあることから、地震、大雨などの災害に備えて、防災機能の強化や地域防災力の充実を図ります。 ○主な施策 ②① 藤島中学校改築等の教育施設整備に合わせ、文化・教育・厚生施設の整備等の方向性を定める「藤島文厚エリア×整備基本計画」を策定し、少子・高齢化が進む藤島地域の中長期的なグランドデザインを描くとともに、子育て世代に選ばれる魅力的なまちづくりを進めます。 ③② 子育て世代が安心して子育てできる地域を目指した環境整備を行うため、特に老朽化が進んでいる児童館や保育園は、少子化の進展と子育て家庭のニーズを勘案した施設整備を検討し、子育て環境の充実を図ります。

現基本計画の体系	検討中の後期基本計画（案）の体系
て環境の充実を図ります。 ③ 健康でいきいきと暮らせる仕組みづくりとして、グラウンドゴルフなどの生涯スポーツに打ち込める環境整備や誰もが手軽に継続できるウォーキングなどを取り入れ、住民が楽しみながら運動できる仕組みを検討します。高齢者が生きがいを持って暮らし続けられるよう、社会参加の促進や買物弱者対策を進めます。 ④ 災害に強いまちづくりを推進するため、共助の基本である自主防災会運営の強化と二次避難所となっている地域活動センターなどの整備、訓練の実施、避難計画の策定などを支援し、地域防災力の充実を図ります。	①③ 藤島地域内の既存の地域公共交通網を活かしながら藤島地域全域の公共交通網を再構築し、住民の利便性と公共交通空白地帯を生まない持続可能な公共交通体系の確立を目指します。 ④ 住民が健康でいきいきと暮らせる仕組みづくりとして、生涯スポーツなどに打ち込める環境整備に務めます。また、高齢者が生きがいを持って暮らし続けられるよう、社会参加の促進や買物弱者対策を進めるとともに、健康増進施設「長沼温泉ぽっぽの湯」などを活用したフレイル予防事業や子育て支援事業にも取り組みます。 ⑤ 災害に強いまちづくりを推進するため、共助の基本である自主防災会運営の強化、二次避難所となる地域活動センターなどの施設環境の整備、関係する各組織の緊密な連携による訓練の実施や避難計画の策定などを支援し地域防災力の充実を図ります。 ※藤島文厚エリア 藤島地域中心部の文化・教育・厚生施設（小・中学校、児童館、老人福祉センター、地域活動センター、体育館等）が立地する区域